

研究課題名：

幹細胞の分化・増殖・老化を誘導する化合物の探索

① 研究目的および方法

iPS細胞に関しては臨床応用に向け数々の研究が進んでいます。再生研究においては効率よく分化誘導できる化合物の発見は大変重要です。幹細胞の分化・増殖・老化を誘導する化合物の探索に増殖能が高く安定して増殖する膠芽腫幹細胞を用いて一次スクリーニングを行う研究です。

膠芽腫の培養細胞を用いて、多種類の化合物の検討を行い、効率的に分化誘導する化合物の探索を行います。有望な化合物に関しては神経幹細胞を用いて分化誘導能を検討します。

② 利用する試料・情報の項目

本研究は、膠芽腫の摘出組織から樹立できた培養細胞を用いた研究であり、使用する化合物は日産化学工業より供与されます。二次スクリーニングにはマウス脳から分離した神経幹細胞を用います。

③ 利用するものの範囲

本研究は熊本大学生命科学研究部の脳神経外科と日産化学工業の共同研究で行います。膠芽腫細胞やマウス神経幹細胞などは日産化学工業と共同で利用します。日産化学工業とは熊本大学イノベーション推進センターを通して正式な契約が締結されています。

摘出した腫瘍組織や病理標本を研究に使用しますが、提供者の患者様に新たに身体的負担や危険・不利益が及ぶ可能性はありません。

本研究の内容は当院の倫理委員会にて承認されております。

④ 利益相反について

本研究は、国から交付された研究費(運営費交付金、科学研究費な)によって行われる予定です。本研究に携わる全研究者によって費用を公正に使った研究が行われ、本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。

当科で手術を受けられたご本人もしくはご家族の方で、膠芽腫組織や病理標本などを本研究に使わないでほしいというご希望があれば、下記までご連絡ください。研究への使用をお断りになられても、当院における診療、その他に何ら影響はなく、不利益の恐れもありません。

● 照会および研究への利用をお断りに場合の連絡先

熊本大学医学部附属病院脳神経外科
秀 拓一郎

住所:熊本市中央区本荘 1-1-1
電話:096-373-5219
FAX:096-371-8064